

JAMの主張

藤川しんいち必勝へ 信頼、絆、この原点を忘れずに

機関紙 J A M 2015 年 8 月 25 日発行 第 198 号

2015 春闘

長らく続いた「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」のために 2015 春闘は従来に増して重要度を増し、特に雇用労働者の 7 割が中小企業で働いているため、中小の取り組みが例年以上に注目されました。そのため J A M はマスコミへアピールをし、記事として取り上げてもらい、中小への波及効果拡大をめざした 2015 春闘でした。

そして、J A M の交渉単位 1,590 のうち、82% が要求書を提出し、80% が妥結という実態です。

数字で見ると、全体平均でも、300 人未満でも前年比 300 円から 400 円のプラス。また、賃金制度があり、はっきりベースアップと区分できているところでは 836 単組が要求し、640 単組で 1,800 円のベアを実現した。厳しい中であっても精一杯交渉した結果だと思えます。

こうした結果を踏まえ、長らく円安による原材料・エネルギー高という中であっても、全体平均で昨年を上回ったこと、ベア実現単組の広がり、さらに金額の上乗せなどから、J A M は一定の成果を残した。この流れをさらに 2016 年、17 年と確実に続けることによって経済の好循環が実現すると思えます。

政策実現の取り組み

2016 年 7 月には第 24 回参議院議員選挙が行われます。J A M は現在の津田議員に代わり、引き続き国会に職場の声を届ける代表として、3 月 26 日の臨時中央委員会で藤川副会長を組織内候補として決定しました。

さっそく 5 月 20 日から、北は北海道、南は九州まで単組などを訪れ、「藤川しんいち」支援の要請をしてきたところです。

三役、執行部、職場委員などのコミュニケーションをフルに活用し、何としても藤川候補を国会に送るんだ、この選挙に勝つんだという取り組みをしなければなりません。35 万人が確実に行動すれば勝てます。そのために組合員との信頼、絆、この原点を忘れずにこれからも活動を展開して頂きますようお願いいたします。